

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部スポーツ推進課		■担当係	スポーツ推進係	
■評価事業名称	奥羽横断駅伝競走大会負担金				
■事業開始年度	昭和35年度				
■評価事業コード	090300 - 011	■会計区分	一般会計		
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり			
	■基本施策	03 スポーツの振興			
	■施策	02 競技力向上への支援			
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの				
■法令等の名称					
■関連計画の名称					
■事業の目的と概要	競技力の向上及びスポーツを通じた交流を図る。田滑かつ安全な大会運営。北上市～横手市～由利本荘市間の駅伝競争大会				

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	奥羽横断駅伝競走大会負担金	高校生・一般		10月27日～10月29日開催 北上市⇒由利本荘市 117km 参加: 東北各県対抗 6チーム 、一般 21チーム、 高校 4チーム 事務局会議5回、 実行委員会1回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	719	703	720	716	
人件費	553	149	735	405	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,272	852	1,455	1,121	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	1チーム当たりコスト	41,032円	26,625円	48,500円	36,161円	
	参加チーム数	31チーム	32チーム	30チーム	31チーム	東北6県対抗の部6チーム、一般の部20チーム、高校の部4チーム

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

参加チーム数の大幅な減少がなく毎年同程度の参加チーム数で大会が開催されており、この大会が認知され、定着している。

問題点・課題等

平成31年度開催の60回記念大会に向けた招待チームの確保

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

毎年同程度の参加チーム数で大会が開催されており、この大会が認知され、定着しており継続する

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了